



■講演タイトル

ロボットの知能化とシステム化-40年を振り返る-

■名前・所属

小笠原 司・奈良先端科学技術大学院大学

■講演概要

大学院修士課程でロボット研究を開始してから40年に余る月日が経過した。本年3月末で大学の研究室における学生指導に区切りを着ける予定である。この間、一貫してロボットの知能化およびシステム化に関する研究ならびに教育に取り組んできた。具体的には、知能ロボットのためのプログラミングシステム、知的遠隔制御システム、視線操縦型車椅子ロボット、人と対話するヒューマノイドロボット、高齢者支援ロボットシステム、物流現場でのマニピュレーションシステム、などの研究を行ってきた。本講演では、これらのロボットの知能化技術・システム化技術の研究や関連する人材育成を振り返る。

■略歴

1978年東京大学工学部計数工学科卒業、1983年同大学院情報工学専門課程博士課程修了。工学博士。同年通産省工業技術院電子技術総合研究所入所。1993年-1994年、カールスルーエ大学客員研究員。1998年より奈良先端科学技術大学院大学教授。現在、同大学副学長および先端科学技術研究科研究科長を兼務。知能ロボットシステム、ヒューマン・ロボ

ット・インタラクション、生体計測などの研究に従事。日本ロボット学会、計測自動制御学会、日本機械学会、IEEE などの会員。